

1・6 調査研究に対する外部評価

当所の調査研究に対して外部からの意見を聞き、県民ニーズなどに合致した効率的で効果的な研究業務の遂行と、その透明性の確保を目的に実施。

年 月	調 査 研 究 課 題	総 合 評 価	コ メ ン ト
23年11月	熊本県における日本脳炎ウイルスの活動状況調査及び遺伝的変異サーベイランスの確立に関する研究	高く評価できる (計画評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染すれば重篤となる日本脳炎の予防対策に資すると考えられ、学術的にも意義がある調査研究といえる。 ・ 遺伝的変異サーベイランス態勢の確立をどのように県民に理解してもらうか、どのように活用するのかの検討も必要ではないのか。 ・ 日本脳炎の予防対策に資するためには、県民に対してこの研究結果の活用如何にかかってくる。研究結果をどのように正しく伝えるのが重要と思われる。 また、注意報が出たからといって、県民が何をしたらいいのかわからない。対処方法まで示す等の方策も検討されたい。 ・ 保環研の仕事ではないかもしれないが、日本脳炎の予防と対策について、より県民にわかりやすく周知できるよう、情報発信のシステムを研究の中で作っていただきたい。

成果評価 : 調査研究の事業終了後に、研究目的の達成状況、行政施策等への寄与度及び県民ニーズへの対応等を評価

計画評価 : 計画段階において、研究の目的、研究の体制及び内容等を評価